



PRIMO JAPAN CSR REPORT

PRIMO RING PROJECT

09

プリモ おもい プリモ かたち

最高の夢を最高の幸に

Share The Moment

喜びの瞬間を、永遠の記憶に。

人生に訪れる特別なできごとの数々。

その喜びを、ともに分かち合うことから私たちは始めたいと思います。

響きあう気持ちは、最高の幸プリモ かたちとなって。

やがて、永遠の思い出にかわっていく。それをいつも信じているから。

私たちは、プリモ・ジャパンです。

社長挨拶

1999年の創業以来、当社は「Share The Moment（喜びの瞬間を永遠の記憶に）」を経営理念として掲げ、プライダルリングの販売を行って参りました。この言葉の背景には、お二人と、お二人に関わる全ての皆様に、人生で最も幸せな瞬間の思いを、指輪という形に変えて永遠に持ち続けて頂きたい、という意味があります。そうした幸せを提供させて頂いている当社のCSR（企業の社会的責任）活動は、信頼される商品を販売するという、言わば自社だけの活動に限定されるものではなく、お客様にお届けするまでに関係するあらゆる人々の業務と思いをつなげ、広げていく活動であるべきだと考え活動の総称を「PRIMO RING PROJECT」と名付けました。「つながる」、「広がる」という二つの言葉をキーワードとして、今後も地道な活動を続けて参ります。



代表取締役社長

澤野直樹

事業概要

当社グループはブライダルカップルに向けた、
ブライダルリング（婚約・結婚指輪）の専門店「アイプリモ」を
日本国内で54店舗、台湾で4店舗、
高級ダイヤモンド専門店「ラザール ダイヤモンド ブティック」を
日本国内で10店舗展開しております。
ブライダルリングはお客様の理想を形にする『セミオーダースタイル』を主な販売方法とし、
既製品を販売するのではなく、
お客様のご予算、ご希望、ライフスタイルに合わせて、
自由に組み合わせることで理想の形に創りあげるサービスを提供しています。
今後はさらなるブライダルリング業界のリーディングカンパニーを目指し、
より一層お客様のご満足を得られるサービスを心がけて参ります。

会社概要

商号	プリモ・ジャパン株式会社
英文名	Primo Japan Inc.
事業内容	ブライダルジュエリー販売、製造
設立	1999年4月15日
代表者	澤野 直樹
資本金	4億5,130万円（2009年9月末現在）
従業員数	506名（2009年4月1日現在 ※正社員のみ）
本社	東京都中央区銀座七丁目16番14号 銀座イーストビル8F
子会社	Primo Israel Diamonds Ltd. 璞琳夢鑽石股份有限公司



アイプリモ

日本最大規模の店舗数を誇るブライダルリング専門店「アイプリモ」。豊富なダイヤモンドルース(裸石)とリングの中から好みのものを選んで婚約指輪をつくる『セミオーダースタイル』を主な販売方法とし、日本全国に54店舗・台湾4店舗(2009年9月末現在)を展開しております。ピンクのブランドカラーは、幸せいっぱいのおふたりの“幸福感”を象徴し、専門店ならではの多彩なデザインバリエーションより好みの婚約指輪・結婚指輪をお選び頂いております。洗練されたリングデザイン、独自の仕入れルートにより実現した適性プライス、末永く輝き続ける指輪をサポートするためアフターケアも充実させ、幸福なお二人へのリングをご提案致します。



プロミスダイヤモンドについて

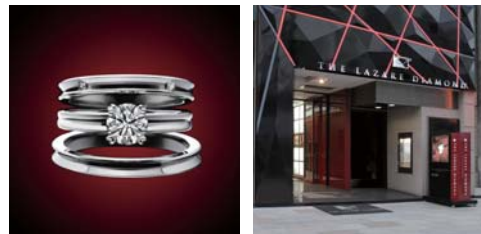
アイプリモではエンゲージリング、マリッジリングの内側に留めるカラーダイヤモンド「プロミスダイヤモンド」の収益金の一部を通じて、社会貢献活動を行っております。プロミスダイヤモンドは、それぞれに意味をもつ8色のカラーダイヤモンドの中から、ふたりで同じカラーを身につけたり、お互いのことを想って選んだカラーを交換して身につけるなど、ふたりだけの想いを込める事ができます。



THE LAZARE DIAMOND®
The world's most beautiful diamond.®

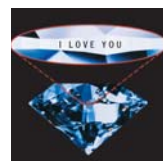
ラザール ダイヤモンド ブティック

ニューヨークのダイヤモンドカッターズ・ブランドである「ラザール ダイヤモンド」と販売店契約を結び、「ラザール ダイヤモンド ブティック」を大都市を中心に10店舗展開しております。「ラザール ダイヤモンド」とはダイヤモンドの歴史において「カットिंगの魔術師」「Mr.ダイヤモンド」とも呼ばれた、伝説的人物ラザール・キャプラン創設の名門ブランド。ダイヤモンドの理想的な輝きを引き出すカットング技術・アイディアルメイクを確立し、その至高の輝きは“世界で最も美しいダイヤモンド”と称され、ダイヤモンドの輝きへの限りない情熱は一世を超え今もなお引き継がれています。ラグジュアリーブランドとして婚約指輪・結婚指輪の他にファッションアイテムも取り揃えております。



世界初のレーザー刻印システムについて

0.18カラット以上のすべてのラザール ダイヤモンドには、ラザール・キャプラン社が特許を取得したレーザー刻印技術によって、ロゴとIDナンバー(個体識別番号)が刻字されています。ガードル部分には、お客様のご希望でオリジナルのメッセージを刻むサービスを提供しており、その収益金の一部を通じて社会貢献活動を行っています。



PRIMO RING PROJECT について

当社には『Share The Moment 喜びの瞬間を、永遠の記憶に。』という経営理念があります。
その経営理念に基づき、1人でも多くの人々の幸せを創りたいという思いから始まった活動、
それが当社のCSR活動『PRIMO RING PROJECT』です。

お客様、取引先、従業員、地域社会など、当社に関わる全ての人たちの願いが
一つの大きな輪(Ring)となり、
幸せを分かち合う人々の笑顔のRingを大きく広げて行きたいと考えております。



REPORT 01 商品の信頼への取り組み

「幸せなおふたりにふさわしいダイヤモンドをご提供したい」という願いから私たちは品質、産地、流通等に関してプロのバイヤーがあらゆる角度から厳選したダイヤモンドのみを世界中から仕入れています。

コンフリクトフリー



アイプリモでは「コンフリクトフリー」のダイヤモンドのみを使用しています。コンフリクトダイヤモンド(=紛争ダイヤモンド)の混入を防ぐために、ダイヤモンドの流通経路においてキンバリー・プロセス※1とシステム・オブ・ワランティー※2を厳守し、国際的な規定に基づいて証明されたコンフリクトフリーダイヤモンド(=非紛争ダイヤモンド)のみを取り扱っております。世界平和への願いをこめたこの取り組みが、アイプリモのダイヤモンドをますます輝かせています。

※1 キンバリー・プロセス
キンバリー・プロセス参加国間(日本を含む68カ国)で輸出入されたダイヤモンド原石は、不正に開封できない容器で運ばれお互いの政府が承認したキンバリー・プロセス証明書が添えられて、紛争と関係ないことが証明されています。

※2 システム・オブ・ワランティー
ダイヤモンドやダイヤモンド宝飾品の全ての取引において、紛争とは関係ない地域から採掘されたものであると宣誓文が記載されたインボイス(明細書)が添付され、保証されなければなりません。

コンフリクトダイヤモンドとは？

アイプリモが排除しているコンフリクトダイヤモンド(=紛争ダイヤモンド)は、「ブラッドダイヤモンド」とも言われ、同名の映画が作られるほど国際的な問題となっています。中央・西部アフリカを中心に、戦争で疲弊している地域で違法に採掘・取引されており、新たな紛争を招く資金源になっています。



アーガイル産ピンクメレダイヤモンド

希少なピンクダイヤモンドのほぼ唯一の産出地は、オーストラリアのアーガイル鉱山です。アイプリモは2008年4月に世界に先駆けて「正規アーガイル産ピンクメレダイヤモンド販売店」としてアーガイル社から認められました。

- ・アイプリモのピンクダイヤモンドは、全て正規のアーガイル産です。
- ・輝きと色みが最も美しいアーガイル産のピンクダイヤモンドを、厳選してご提供しています。



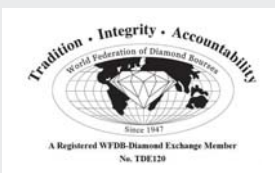
ロシア産ダイヤモンド

ロシア産のダイヤモンドは、透明感のある冴えた輝きで、世界のジュエリーブランドから注目を集めています。心を魅了する美しさの理由は、高温高圧下で結晶化し、安定した環境に育まれたその生い立ち。アイプリモではロシア国営ダイヤモンド研磨会社「クリスタル社」から供給を受け、アイプリモだけの証明特典をつけてお届けしています。

- ・信頼の証、「クリスタル社」発行の産地証明書付き。
- ・ガードル部分にシリアルナンバーと「クリスタル社」マークを刻印しています。



WFDB『世界ダイヤモンド取引所連盟』加盟



TDE を介して 2008 年 10 月 1 日 (水) 『世界ダイヤモンド取引所連盟』(World Federation of Diamond Bourses 以下略称: WFDB) の正式メンバーに認定されました。WFDB はダイヤモンド取引に

2008 年 7 月 25 日 (金) 日本を代表するダイヤモンド取扱業者で構成された機関である東京ダイヤモンドエクスチェンジ(Tokyo Diamond Exchange 以下略称: TDE) に加盟。この

関する世界の情報共有と問題解決を目的とした国際組織であり、今回の認定によって、日本のジュエリー業界のみならず世界 20 カ国の 1 万を超えるダイヤモンド取扱業者へ、広くその信頼と責任を掲げて参ります。当社が WFDB に認定された経緯には、コンフリクトフリーのダイヤモンドのみを販売する徹底した取り組みが高く評価された点にありました。今後も引き続きコンフリクトフリー活動を世界へ働きかけると共に、国内外のダイヤモンドマーケットにおける最新情報を素早く入手し、ダイヤモンドに関する確かな情報をお客様へ提供して参ります。

REPORT 02 より良い職場を目指して

お客様に最高のホスピタリティが提供できるのは職場環境あってこそ。
女性が多く若い社員が多い当社では、働く社員の立場になって、常に働きやすい職場環境整備に努めています。

子育て支援（産休・育休）

ワークライフバランスの一環として産休・育休制度の充実を図っています。現在までに多くの社員が活用し、育休後の職場復帰を果たし、働いています。また、個人や家庭の事情によって退職した社員が一定条件を満たした場合、退職後もアルバイトとして勤務できる『キャリア登録制度』も設けております。



アイプリモ横浜元町本店 土屋 尚子

2008年4月から産休に入りました。出産一時金などの保険も整っておりましたので安心して出産を迎え、育児に専念する事が出来ました。1年以上のブランクは不安もありましたが、先輩や上司のサポートもあり今年7月に復帰。忙しい毎日ですが頑張っています。今後も産休・育休を取得し、仕事と子育ての両立をしていくスタッフが増える事を願っています。

障がい者雇用

健常者も障がい者も雇用形態を正社員として迎えています。知識や経験に拘わらず、幅広い職種にて雇用及び環境の整備に取り組んでいます。



管理部 財務経理グループ 菅谷 真紀

私がこの会社に入社して早一年が過ぎました。今、私は店舗の売上や店舗の使用のお金を管理する販売管理業務を主に行っています。店舗スタッフとのやり取りも多く、とてもやりがいのある仕事です。プリモ・ジャパンは役員をはじめ若い方が多く、一人一人がとても生き生きと仕事をしている会社だと思います。私自身、全くの経理初心者で入社し、視覚に障害があるので自分がどこまでやれるか期待と不安がありました。しかし部署の方々を中心に会社の方に支えられ毎日充実した日々を過ごしています。今後も自分のスキルアップを目標として頑張らせていただきます。

プリモカレッジ（教育体系）

プリモカレッジとは入社してから3年間で卒業する自己啓発促進支援システムです。各種研修は勿論、立候補制の研修、指定図書による自己啓発やジュエリーコーディネーター検定への支援も行われています。プリモカレッジの目的は「自ら学ぶ人材を育成すること」です。業績向上が目的ではなく人を創り、心を育てることを目的とした、プリモ・ジャパンならではの制度です。



プリモクラッセ

入社時に18金の社内ブローチを付与致します。最初はプレーンなブローチですが、販売実績・勤続年数・取得資格などの一定基準をクリアするごとにメレダイヤ（小粒のダイヤモンド）が1石ずつ、最大10石まで増えていきます。お客様から頂いたありがたいの証であり、個人の誇り・勲章でもあります。当社ではプリモカレッジはマインドを、プリモクラッセはスキルを育てる制度と位置づけています。



REPORT 03 社会貢献活動

社内横断組織であるプロジェクトチームを中心に、NPO・NGO 団体と協力した活動から当社オリジナルの活動まで、積極的且つ継続的に社会貢献活動を進めております

社会貢献活動 理念、方針

社会貢献活動理念

プリモ・ジャパンは経営理念のもと、社会の一員として積極的・継続的に社会貢献活動に取り組みます。

社会貢献活動方針

1. 重点分野での貢献活動を推進

次の世代を担う人材の育成と社会的課題の解決に向けた社会貢献活動に取り組みます。

2. 地域社会貢献活動への参加促進

社員が社会の一員として自主的、積極的に参加し行動する風土醸成と、地域社会貢献活動への参加を支援します。

3. 社会とのコミュニケーション重視

理念、活動方針、活動状況を広く開示し、広く社会と共有することで社会の発展に寄与することを目指します。

社内横断型「社会貢献活動プロジェクトチーム」について

今期より事務局だけではなく、多様な社員をプロジェクトメンバーに加えて様々な視点を入れた社会貢献活動を始めました。メンバーは立候補による参加とし、任期1年間、社会貢献活動を社内外に向けて積極的に推進していく事をミッションとしています。今期は2名のメンバーが立候補し、事務局と共に全ての社会貢献活動

について進めて参りました。毎月の定例ミーティングでは、我々が目指す社会貢献活動について毎回熱く論じられています。10月以降の来期につきましても、既にメンバーとして10名が立候補しており、今期メンバーが行ってきた活動を継続させると共に、更なる進化と発展を目指して参ります。

プロジェクトメンバーコメント

私が提案した『チームマイナス6%』や『エコバック運動』が形になり、多くの方々からの活動報告を受けたときは、とても大きな喜びを感じました。一般社員である私の意見が会社全体の活動に影響できたことは、なかなか経験出来ないことであり、またひとつ、プリモ・ジャパンでのやりがいを見つけることが出来ました。

アイプリモ水戸本店 店長
播口 恵美



プロジェクトメンバーコメント

ダイヤモンドは自然が生み出したものであり、あまり知られていませんがジュエリーの製造過程ではたくさんの産業廃棄物が出ます。長くジュエリーに携わっている者として、そして子を持つ親として、プロジェクトチームに参加した1年は本当に有意義な時間でした。

営業本部 商品部
嵯峨 隆子



ベトナム幼稚園

2007年12月より、社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンが実施するベトナム山岳地域幼稚園建設事業において、幼稚園建設と現地教員及び保護者の研修にかかる費用をサポート致しました。



ベトナムの問題

ベトナムの地方農村部や山岳地域において、地域ぐるみで子どもを養育していくことの重要性があまり認識されておらず、幼稚園や保育園といった幼児のための教育施設不足が問題となっています。

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン活動、当社支援内容

社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンでは、2003年7月から幼稚園や保育園施設で子どもたちの教育を支援する幼児教育事業を展開しています。教育の質的向上を目指し、次の世代を担う人材を育成するという点が、当社が考える社会貢献活動のコンセプトと一致したため、幼児教育事業の一環として、幼稚園建設と現地教員及び保護者の研修にかかる費用をサポート致しました。

オープニングセレモニーについて

2008年5月22日、園児及び保護者、教員、州政府関係者、セーブ・ザ・チルドレン、そして当社メンバーの出席のもと、幼稚園の竣工式が行われました。笑顔と感謝の気持ちがあふれ、まさにRingとなった瞬間でした。



社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

セーブ・ザ・チルドレンは、国連に公式に承認された世界最大のネットワークを持つ、子どものための民間の国際援助団体（NGO）です。活動の始まりは1919年。以来約90年にわたる活動は、各国政府や国連組織からも世界のNGOの代表格としてその重要性を認められています。国連の「子どもの権利条約」を理念とし、世界の子どもたちとその家族、地域全体を改善するため、現在120ヶ国以上で、様々な活動を実施しています。そのプログラムは、教育支援、食糧支援・栄養指導、医療保健、子どもの搾取と虐待問題、HIV/エイズ問題、紛争と災害への緊急援助など多岐にわたっています。

MESSAGE

社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
マーケティング部 コーポレートパートナーシップ
堀江 由美子 様より

ご協力頂いた活動により、対象村の子どもたちが学ぶ環境が整備され、保護者や教員が子育てに関する知識を身に付け、子どもたちを取り巻く環境が大きく改善されました。ご支援に心より感謝申し上げます。

ごみ拾い活動

2008年6月より、本社及び全国数十店舗において周辺地域の清掃活動を始めました。1年以上毎月継続している店舗もあり、当社の社会貢献活動の一つとして定着しています。本社では3ヶ月に1度、周辺の清掃活動を続けており、毎回清々しい汗を流しています。自分たちが働く地域社会への感謝の気持ちを込めて、今後も継続していきたい活動の一つです。



ピンクリボン運動

プリモ・ジャパン オリジナルピンクリボンロゴ

プリモ・ジャパン、アイプリモ、ラザールダイヤモンドブティック共通のオリジナルロゴを作成し、店頭でPOPを置く等の啓発活動を進めています。ピンクのリボンとリングを組み合わせた当社オリジナルのロゴは社員のデザインにより完成致しました。このロゴと共に、当社はピンクリボン運動を進めて参ります。



従業員の乳がん検診料一部負担

女性が多く働く会社だからこそ、社内から啓発活動を進めるべく、満30歳以上の女性従業員に対し、マンモグラフィ検診料を5,000円まで負担しています。尚、対象者は当社全従業員の25%が該当致します。

NPO法人J.POSH(日本乳がんピンクリボン運動) オフィシャルサポーター登録

2008年10月よりNPO法人J.POSHのオフィシャルサポーターとして、ピンクリボン運動を支援しています。



NPO法人 J.POSH

NPO法人J.POSH(日本乳がんピンクリボン運動)は2003年3月に全国初のNPO法人認証を受けた、乳がん啓発活動市民団体です。「受けようマンモグラフィ検診。乳がん早期発見で笑顔の暮らし」を合言葉に、乳がんについての啓発と情報提供、マンモグラフィ検診の普及促進、乳がん専門医療スタッフ育成や患者会への助成、患者と家族のサポートなどを目標に、すべての女性、患者のみなさん、患者の家族のみなさんが涙を流すことのない社会・健康づくりをめざして日々活動しています。以上のようなNPO法人J.POSHの活動に対し、2009年2月関西経済連合会と関西経済同友会から「関西財界セミナー賞2009 輝く女性賞」を授与されました。

MESSAGE

NPO法人J.POSH 事務局長 松田寿美子様より

日本における乳がんの発病者は2006年に42,000人(18.5人に1人)、死亡者数は2007年には11,414人とどちらも増加の一途です。欧米の75~80%に比べ日本の乳がんマンモグラフィ検診率は約7%と大変低く、乳がんの早期発見が遅れ救命率を下げているのが現状です。また企業検診において、女性社員への乳がんマンモグラフィ検診の取組み実態が十分でないのも現状です。そのような中での「女性従業員の乳がん検査料の一部負担」は、早期発見のための「経済的に受けやすい環境づくり」として、企業のピンクリボン運動への積極的な取組み推奨事例です。

チーム・マイナス6%

2008年10月、チーム・マイナス6%への参加表明を行い、承認されました。店舗ごとに活動内容を決めて社内宣言を行い、本社及び各店舗で積極的に取り組んでいます。



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

チーム・マイナス6%とは

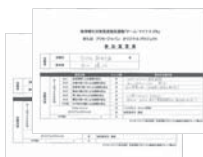
深刻な問題となっている地球温暖化の解決のために世界が協力して作った京都議定書が2005年2月16日に発効され、さらに2008年からは、京都議定書で定められた削減目標の第一約束期間に入りました。世界に約束した日本の温室効果ガス排出量の削減目標は、1990年に比べて6%削減すること。これを実現するための国民的プロジェクト、それが「チーム・マイナス6%」です。

全国配送時専用カバン、営業用エコバッグ



本社から店舗へ毎週商品を配送する際、配送会社の協力を得て、専用の布鞆を用意し、繰り返し使用しています。また、営業活動時には当社オリジナルエコバッグを使用し、お取引先へカタログなどをお持ちしております。

全国店舗ごとに活動内容を宣言



企業としてチーム・マイナス6%事務局へ参加宣言を行うと共に、全国の店舗でも社内宣言を行いました。チーム・マイナス6%の活動に、当社オリジナル活動としてペットボトルキャップ回収や使用済切手回収、ゴミ拾い活動を加え、それぞれの店舗で、自分たちで考えた目標を設定し、日々取り組んでいます。



本レポートの表紙には "PRIMO RING PROJECT" のシンボルパターンがデザインされています。結婚指輪に由来したハッチワークとして古くから伝わる"ダブルウェディングリング"をモチーフとし、"アイプリモ"と"ラザール ダイヤモンド ブティック"のそれぞれのテーマカラーを併せ持ったシンボルです。「つながり」や「広がり」、「幸せの連鎖」といった、プロジェクトに込めた想いを表現しています。

<http://www.primojapan.co.jp>
